

日本に行きたい！日本を知りたい！ フランスの若者事情 ～大垣女子短期大学とフランス・ユーラジウム校の学校間提携～

パリ事務所

例年 7 月にパリ近郊で開催される Japan Expo (ジャパンエキスポ) の盛況ぶりや、フランスで日本のアニメやゲームの人気の高いことは、日本でもよく知られていますが、実際、フランスのアニメクリエイター達とイベント会場以外で交流する機会は稀です。

この度、マンガコースを有する岐阜県の大垣女子短期大学が、パリの私立高等専門学校ユーラジウム校と、学生及び教職員の交流促進のための学術協定を締結するにあたり、クレアパリ事務所もその締結式に出席し、未来のアニメクリエイターや関係者に直接会ってお話する機会を得ましたので、その概要を報告します。



ユーラジウム校学生の作品 (式典会場)

■協定提携に至る過程

大垣女子短期大学は岐阜県南部の大垣市に位置し、幼児教育科、デザイン美術科、音楽総合科、歯科衛生科、看護学科の 5 学科からなる総合女子短期大学です。

また、2006年にパリで設立された私立高等専門学校のユーラジウム校は、日本の私立大学と同様の位置づけで、学士(3年生)及び修士(5年生)単位の取得が可能です。マンガ家及びマネージャーの育成を目的とし、アート・コミュニケーション学部及びマネージメント学部が設置されています。

両校の交流のきっかけは、2009年に岐阜県のCIR(国際交流員)がフランス文部省から情報を入手して、大垣女子短期大学にユーラジウム校を紹介したことでした。その後、2010年度から学生を相互派遣するなどして、交流を深め今回の学校間提携に至りました。

■両校の具体的な交流内容

大垣女子短期大学では、2010年度からユーラジウム校の学生を科目履修生として約半年間受け入れており、同制度により、これまでに20名(年間2~10名)が大垣で学びました。ユーラジウム校では日本語が必修科目となっており、大垣で受け入れるフランス人学生も、日本人学生が履修する通常授業に参加しています。フランス人学生は、短大の仲間や教職員のサポートを受けながら、大学生活、地域の行事や日本各地への訪問などを積極的にこなしています。



交流会用に巻き寿司を準備。

(ユーラジウム校)

協定式の打ち合わせのために、私がユーラジウム校にお邪魔した際も、フランス人の学生一人ひとりが日本語で丁寧にあいさつをしてくれ、マンガやアニメ、マネジメントの研究のみならず、日ごろから日本語や日本の文化に親しんでいる様子が伝わってきました。

2011年度からは、大垣女子短期大学の学生や教職員がユーラジウム校を約1か月訪問する短期研修事業を開始し、これまでに17名が派遣されています。日本の学生は、大垣での留学を経験した学生や教職員からの歓迎を受け、ユーラジウム校で授業に参加しつつ、基礎フランス語の勉強、美術作品鑑賞や出版社訪問、学生宅でのホームステイ等を体験し、流行の発信地であるパリで貴重な体験を重ねています。



ユーラジウム校での特別講義の様子

■学術交流協定式の様子

2014年2月25日、ユーラジウム校が所在するパリ3区の区役所において行われた学術交流協定締結式では、大垣女子短期大学の中野理事長兼学長とユーラジウム校のウーテリック理事長兼校長が協定書に署名し、美術、デザイン、マンガ関連分野における交流活動の推進が確認されました。

会場には、短期研修中の大垣女子短期大学の学生5名と教職員2名、ユーラジウム校からは学生と教職員、同校卒業生が参加し活気あふれる式典となりました。

両理事長のあいさつの他、学生が制作したビデオ等による両校の紹介、パリで研修中の大垣女子短大学生5名の簡単な自己紹介、ユーラジウム校学生作成の手作りマンガ冊子の贈呈、在パリのマンガ出版者によるフランスのマンガ市場に関する現状説明、クレアパリ事務所による岐阜県の概要紹介が行われました。

式典には、2010年、ユーラジウム校から大垣に留学した第1期生(卒業生)3人も登壇し、大垣女子短期大学で学んだこと、日仏の美術教育の差異、日本での思い出、大垣への愛着などが熱く語られ、日本での半年間が彼女たちにとって非常に有意義であったことが伝わってきました。



両校理事長が協定書に調印



大垣での思い出を語る卒業生

■ますます期待される日仏の若者交流

今回、私が両校の関係者から交流の概要をお聞きする中で感じたのは、フランスの若者の「日本が好き」「マンガやアニメが好き」「日本に行きたい」「日本で暮らし、日本のことをもっと知りたい」という思いは、我々日本人が想像するよりはるかに強いということです。ユーラジウム校の学生も、大垣女子短期大学との交換留学事業を活用し、彼らの夢である日本滞在を実現させているのだと感じました。

また、学生の熱い思いに日常的に接しているユーラジウム校の教職員が、日本との関係強化に奮闘されていることや、大垣女子短期大学においても、「頑張っているユーラジウムの学生を助けてあげたい」という気持ちで教職員の皆さんが積極的に留学生サポートに参加されていると聞き、教員、学生、事務局間の関係が近い、比較的小規模な大学ならではの利点を感じました。

大垣女子短期大学の学生にとっても、パリの地で、美術、デザイン、マンガという同じ志を持つフランス人クリエイターと学び、日常を共有することは、得難い貴重な体験となるはずです。

今回の協定締結を受け、両国の若者交流が一層深まり、そこから生まれる新たなネットワークやプロジェクトが、日本とフランスの地域活性化に還元されることを期待しています。



学生・教職員関係者全員で更なる交流を確認

(堀部所長補佐 岐阜県派遣)